



令和4年度「後期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、結果や分析についてご意見をいただき、次年度改善策の策定に向けてのご助言を頂戴しました。これらの結果、ご意見・ご助言を令和5年度の教育活動の改善と具体的な取組の立案・実行に活かして参ります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというにあてはまる ③どちらかというにあてはまらない
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）
各符号… ◎ {各重点の目標} ・ {学校運営協議会助言等} ☆ {改善策(次年度に向けて)}

(1) 確かな学力の定着

◎新学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学が喜びと達成感を感じられる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』（①+②）

R4.7 : 100% **R4.12 : 95%** A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満

生徒『学校の授業がわかる』（①+②）

R4.7 : 86% **R4.12 : 86%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』（①+②）

R4.7 : 55% **R4.12 : 57%** A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

※ ⑤わからない と回答された方 16%

[学校運営協議会]

- ・保護者だけ評価が低いのは、授業のわかりやすさは家庭での会話の話題になりにくいからではないか。
 - ・学校公開に訪れる保護者の数は限られるので、コロナ後に授業参観が再開されたら、もっと保護者の参観を促すとよい。
 - ・人として大切な自制心や思いやりといった非認知能力を育むためにも、道徳に力を入れるのは大切である。
- ☆家庭学習の日やNo ネット・No ゲーム・No テレビ デーに保護者と話す機会が増えるよう啓発します。
☆学校公開や授業参観について、各種便りやインターネット等を使って案内・周知の方法を工夫します。

(2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取り組みの目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』（①+②）

R4.7 : 90% **R4.12 : 87%** A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』（①+②）

R4.7 : 84% **R4.12 : 88%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『自分は学校の一員だと感じている』（①+②）

R4.7 : 89% **R4.12 : 89%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』（①+②）

R4.7 : 79% **R4.12 : 81%** A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

※ ⑤わからない と回答された方 9%

[学校運営協議会]

- ・ボランティア活動の積極的な参加、子どもの動きがわかる充実した掲示物等、豊かな心の育成につながる日常的な取組を続けてほしい。
- ・生徒の自己有用感や自己肯定感を育てるには、減点法ではなく加点法で生徒を評価すべき。生徒のよいところを認める取組を続けてほしい。
- ・「自分は学校の一員だと感じている」項目について、③④を選択した生徒が、疎外感や孤立感を感じていないか注視し、対応すべき。項目によっては否定的な回答をした個人に焦点を当てた分析を行うとよい。

☆行事や取組はもちろん、日常的に様々な形で生徒のがんばりを認め豊かな心の育成を図ります。

☆「ふれあいアンケート」で自己肯定感の低い生徒のよいところを見つけ、教員間で共有し、生徒を認める場を意図的に増やす取組みを進めます。

(3)健全な体の育成

◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようにする。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)			
R4.7: 64%	R4.12: 70%	A:80%以上	B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満
生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)			
R4.7: 90%	R4.12: 87%	A:90%以上	B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

・休日の部活動地域移行の動きがどのくらい進むのか予想できない部分はあるが、部活動本来の意義を逸脱しないようにしてほしい。

☆部活動に対する意欲を維持しつつ、集中して短時間でも効果的な活動となるよう、生徒の自主性や計画性を育てていきます。

(4)持続可能な学校教育の体制づくり

◎安全安心で学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)			
R4.7: 93%	R4.12: 95%	A:90%以上	B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)			
R4.7: 83%	R4.12: 85%	A:90%以上	B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満
教員『時間外勤務時間』(月平均時間)			
R4.9月C(62h)、10月B(58h)、11月B(70h)、12月A(42h)			
		A:45h以下	B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い
教員『授業や行事等の中で、目的に応じてクロームブック等の情報端末を活用した指導ができた』(①+②)			
R4.7: 85%	R4.12: 90%	A:90%以上	B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

[学校運営協議会]

・保護者との連携について、「連携」とは双方向的なものである。学校側が保護者の声を聴く機会を充分確保しているか、また保護者側が学校公開等を利用したりPTA活動に参加したりするなど、学校と積極的に連携しているかを双方向から検証してほしい。

・業務改善意識や時間外勤務時間について、着実に改善に向かっている点は評価できる。

・クロームブックを効果的に使うなど、工夫した授業・興味を引かれる授業が見られた。

☆コロナ後の学校行事、PTA活動(授業参観、学級懇談会)や地域貢献活動がより活発に行われるよう、PTA、地域の方と協議・検討していきます。

☆今後もクロームブックの活用方法について教職員研修を重ね、授業で積極的に使っていくことはもちろん、自主学習での利用を促進して各自の興味関心や習得状況に応じた学びを充実していきます。

◆[自由記述欄]について

アンケート末『自由記述欄』には、28件の記述をいただきました。ありがとうございました。ご意見、疑問に思われたこと、感謝のお言葉など様々でした。学校だよりを通してお答えできないものもございましたが、いただいたご意見等は、より良い学校づくりのための参考とさせていただきます。

子どもたちのよりよい成長のための相談事などございましたら遠慮なくご連絡ください。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。

連絡先 076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 黒川)
メール fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp